



まちがど トピックス



若松町一丁目のだんじり



川面町のだんじり

■だんじりお披露目～秋空に響く太鼓の音～

10月第2・3週の土・日曜日、市内各地で、秋の収穫を祝うだんじり祭りが実施されました。また、祭り本番を前に、今年新調された川面町のだんじりが9月16日に、若松町一丁目のだんじりが23日に、それぞれの町内でお披露目されました。青年団の皆さんの威勢の良い掛け声と太鼓の音を響かせながら曳行される勇壮なだんじりの姿に、見学者らは盛んに写真を撮っていました。



■ピカピカ輝くこれからは

9月7日、中央図書館で「高齢期を輝かせる生涯学習活用術ぴんぴんピカピカころりのススメ」が開催されました。これは、健康寿命が延びた超高齢社会で、生涯学習を通じて人生をより楽しく有意義に過ごそうというもの。

参加者は、これまでの人生を振り返りながら、今参加している活動や今後学びたいことなどを紙にまとめて共有し、これからの人生に思いをはせていました。

■黄金の稲穂が揺れる復興米

9月18日、桜井町の田んぼで、東日本大震災の津波に流されながらも岩手県大槌町で穂を実らせた、3株の稲ガルーツの「奇跡の復興米」の稲刈りが実施されました。

今年で5年目となる復興米の収穫に、喜志小学校の5年生らが参加し、1株ずつ丁寧に収穫していました。収穫された復興米の一部は大槌町などに、稲わらは動物の寝床として天王寺動物園に贈られる予定です。



写真とともに見る9月～10月のできごと



■世界を相手に活躍中

9月25日、全米オープンジュニア男子シングルス（テニス）でベスト8となった市川 泰誠さんが、市役所を訪れました。

6年前にもテニスで教育委員会顕彰を受賞された市川さんですが、背もぐっと伸び、ジュニアではワールドクラスの選手に成長されています。高校卒業後はプロとして活動されるとのことで、今後も世界の強豪を相手に活躍されることを期待しています。

■へキサスロンに挑戦！

10月8日、青少年スポーツホールで、「へキサスロンで運動能力測定」が開催されました。へキサスロンとは、運動が苦手な子どもが、楽しく遊び感覚で「走る・跳ぶ・投げる」などの基本的な動作を身に付けることを目的に開発された運動プログラムのこと。参加した児童らは、エアロケットやエアロディスクなどへキサスロン用に開発された用具を使った運動メニューを楽しみながら、運動の基本動作を習得していました。



■秋の恵みの収穫体験

10月7日～8日、農業公園サバーファームで、恒例の秋の収穫祭が開催されました。

台風21号の影響で一部の作物の収穫体験が実施できなくなるなどの被害もありましたが、旬の野菜の収穫体験や稲刈り体験などが実施され、人気のサツマイモの収穫体験では朝から行列ができる盛況ぶりでした。

園内には、家族連れなどが土の匂いを感じつつ、実りの秋を満喫する姿がみられました。

■秋のおひなさま

10月13日、富田林寺内町およびその周辺で、じないまち四季物語2018「秋」～後の雛まつり～が開催されました。

これは健康と長寿を願って、秋にもおひなさまを菊の花とともに飾った江戸時代の風習を再現したもの。

当日は、おひなさまと菊花が彩る秋の寺内町の散策を楽しみながら、スマートフォンなどで写真撮影をする人の姿が多くみられました。

